

## ごあいさつ

浜松市では、30年後の「未来」を見据え、責任が持てる「いま」を創造する新たな「総合計画」の策定に取り組んでいます。人口減少や超高齢社会の課題に対して先を制し、課題解決の先進都市として、持続的に発展する未来の理想の姿を定めてまいります。



このため、第3次地域福祉計画においても、人口減少・超高齢社会の到来、さらに、経済のグローバル化による雇用形態の多様化や長引く景気低迷による生活困窮者の増加など、様々な地域課題を市民の皆様とともに解決していくことを基本としています。

地域社会を取り巻く環境も大きく変貌し、かつてはどこにでもあった「助け合いの精神」が弱まり、住民同士の「つながり」が希薄化し、高齢者の孤立死や虐待といった新たな社会問題が浮かび上がるなど、改めて「人と地域とのつながり」の大切さを認識し、誰もが住みなれた地域で、安心・安全に暮らすことができる地域社会の実現を目指す「地域福祉」の推進が求められています。

本市では、第1次・第2次地域福祉計画に基づき、この10年間、積極的に様々な事業を展開し、地区社会福祉協議会の設立やボランティア団体の育成など、地域における支え合いの基盤を整備してまいりました。

この第3次地域福祉計画では、そうした基盤を活かしながら、多くの地域住民が自ら地域福祉に参画することを目指すため、「みんなが生き生きと『関わり』を持って動く地域づくり」を目標像として掲げました。

そして、目標像の実現を図るため、①コミュニティソーシャルワーカー（CSW）配置事業 ②地区社会福祉協議会活動支援事業 ③企業の地域福祉型社会貢献（CSR）活動促進事業 の3つをリーディングプロジェクトとして位置づけ、地域福祉活動の着実な進展を図ってまいります。

結びにあたりまして、本計画策定にご尽力いただきました浜松市社会福祉審議会委員の皆様をはじめ、貴重なご意見をいただきました民生委員・児童委員、地区社会福祉協議会、福祉事業者などの関係各位に心から感謝を申し上げます。

平成26年3月

浜松市長 鈴木康友